

うしお会 会報

平成27年9月発行
追浜高校同窓会



【写真】旧校舎建設当時の追浜高校校舎



【写真】完成間近の1棟新校舎

追浜高等学校4期生

【石野雅樹 横須賀交響楽団 経歴】

- 昭和43年(1968) トロンボーン奏者として入団
- 昭和51年(1976) 指揮者デビュー (20周年記念演奏会)
- 昭和53年(1978) 常任指揮者 就任
- 平成14年(2001) 音楽監督 就任
- 現在、横須賀交響楽団音楽監督・副団長兼務

第四回目の「同窓生活躍人」には、
現在、横須賀交響楽団音楽監督兼副
団長で活躍されています石野雅樹さ
らにご登場いただきます。
まずは、プロフィールをご紹介します。
たします。

同窓生活躍人!

中学時代から楽器演奏をしたかったのですが、私が通っていた中学校には吹奏楽部はなく、追浜高校入学と同時に吹奏楽部に入部しました。追高に数多くあるクラブの中でも当時の吹奏楽部は花形的存在で、さまざまな学校行事（入学式や体育祭等）での演奏、特に、当時全校共通授業としてあった全体行進（名称は不詳・全学年の生徒で校庭を行進する）の際には行進せず、小一時間行進曲を演奏しました。また、学校行事ではありませんが、追浜駅から夏島小学校までをパトカー先導でパレードをしたり、秋の演奏会に向けて合宿した時などは、当時の追高には合宿所がなかったため、学校の教室に莫産を敷いて寝たため背中が痛くなったり、夜中に蚊の襲来でなか

石野雅樹氏



なか寝つけなかったことなど懐かし
く思い出されます。卒業後、学校主
催の演奏会が休止し、吹奏楽部の発
表の場がなくなりました。そこで数
人に呼びかけ、OB宅を訪ねて資金
を調達し、OB会主催の演奏会とし
て昭和四十七年（1972）十一月
二十七日、市文化会館で開催しまし
た。未だに日付まで記憶している
いうことは、かなり熱を入れていた
んだなあ、と思います。OB会主催
として開催した演奏会は、横須賀三
浦地区で初めてのことで、翌年から
は、学校の開校記念日の十月一日に
開催し、その後長い間続いていきま
す。

オーケストラとの出会いは、校医
であった故・根本俊男先生（歯科医
師・前横須賀交響楽団団長）が検診
のため来校するたびに吹奏楽部に顔
を出され、「君、オーケストラへ遊
びに来ないか？」と勧められ、在学
中に横須賀交響楽団へ入団しまし
た。また、顧問であった小上馬先生
が指揮をされていた「神奈川交響楽
団」の裏方（楽器運搬やステージセッ
トなど）をお手伝いし、オーケスト
ラに馴染んでいきました。卒業して
からも、大学に行くより高校の吹奏
楽部に顔を出す方が多かったように
記憶しています。その頃は、街の社

交場のビッグバンド等でトロンボーン吹きとしてアルバイトもしていました。

昭和四十七年日本フィルハーモニー管弦楽団が分裂解散し、新日本フィルハーモニー管弦楽団が発足した時、楽団の通称・ボーヤ（見習い）などのアルバイトも経験しました。小澤征爾氏指揮の結成コンサートや、山本直純氏司会のTBSの番組「オーケストラがやってきた」の録画取り等、色々なコンサートをお手伝いさせていただきました。

昭和五十年（1975）、横須賀交響楽団の創団者で常任指揮者でもあった根本英男氏（校医の兄）が逝去されます。翌年のオーケストラ結成二十周年の演奏会で指揮者デビューしました。その二十周年記念演奏会では、本市在住であった故・團伊玖磨先生が、現在の天皇陛下がご結婚された時に作曲された吹奏楽作品「祝典行進曲」をオーケストラ版に編曲してプレゼントしてくださいました。またこの頃から、市の依頼演奏会（成人を祝う音楽会・市民音楽のつどい等）や、市内の小・中学校等への音楽教室出演などを積極的に行うようになり、演奏会の数が多くなりました。

昭和五十八年（1983）には郷



一九八四 組曲演奏

土讃歌、合唱と管弦楽のための組曲「横須賀」が完成し、初演及び録音が行われました。昭和六十二年（1987）には、東京駅丸の内口で開催されていた「東京エキコン」にアマチュア・オーケストラとして初めて出演、平成四年（1992）には、地元での市民に対する演奏活動が評価され、第四十回神奈川文化賞を受賞しました。

最近では、横須賀ならではのイベントとして、基地の街ヨコスカを逆手に取った横須賀芸術劇場主催の「アメリカンサウンド・イン・ヨコスカ」に6年前から出演し、米海軍



第七艦隊のバンドと音楽での交流を行っています。

現在の活動としては1月の「カジュアル・コンサート」から年末の「第九」演奏会まで、年九回ほどの演奏会を開催しております。来年、平成二十八年（2016）には創団六十周年を迎えます。原点を忘れず今後も、市民のためのオーケストラとしてさまざまな活動をしていきたいと考えています。

同窓生 活躍人 びと ご紹介ください!

三浦半島に限らず、県内県外、日本各地で、また海外で活躍中の追浜高校卒業生の方々が、おおぜいいらっしゃいます。

今年のうしお会50周年を期に、そんな活躍人情報を集めて、更に卒業生に発信できたら、と思います。

自薦他薦を問いません。お店の情報、仕事のPR、「こんなことやっています！」情報募集します。ホームカミングデーでの校舎内での掲示、セントラルホテルでの掲示を手始めに考えています。

名刺サイズから、A4サイズまで、皆様からの情報提供、掲示物の送付をお待ちしています。（データでも印刷物でもかまいません。）
揭示後は、うしお会ホームページでの紹介、会報での紹介につなげていきたいと考えています。

うしお会ホームページ（8ページ参照）か、学校事務局宛郵送、または事務局の二宮（7期生）のアドレス宛て、送付ください！
(nomiyai1919@pen.kanagawa.ed.jp)

◆同窓生活躍人◆

卒業生は開業医

会報では店舗、旅館等経営されている卒業生を紹介させてもらっています。今回もお二人紹介します。

お一人目は、横須賀での分娩施設不足を受け、市内にマタニティクリニックを開業されている鈴木猛さんです。

鈴木 猛氏

追浜高等学校10期生
 昭和50年 追浜高校卒業
 昭和58年 宮崎医科大学(現 宮崎大学) 医学部卒業
 昭和60年 横浜市立大学医学部病院研修後横浜市立大学産婦人科入局 横浜市立大学産婦人科関連病院の勤務経て
 平成18年1月 小平市ジュンレディースクリニック院長
 平成21年7月 衣笠町に横須賀マタニティクリニック開業



昭和四十七年より三年間、高校生を送りました。今振り返ると昨日のこのようです。当時の先生には個性的な方が大勢いらっしゃいました。特に一年・三年と担任をしていただいた平野信士先生(数学)には、強烈な印象と影響を受けました。クラスは自由な雰囲気と和気あいあいとしていましたが、授業は厳しく試験で合格点がとれなかった時は朝の補修などもありました。一年生の時に家庭科の授業で女子が作ったケーキをちゃっかりと男子が食べてしまったことがあります。もちろん家庭科の先生から報告が入り食べた

男子(クラスの半数以上でした)は先生より出席簿でビンタを頂きました。当時でもかなり体罰には厳しくなっていました。特に問題とならなかったと思います。今思うと先生が罰することでの後の色々な面倒を振り切ってくれたではと思います。その後も本当にかわいがっていただき卒業後も連絡を下さいます。

高校時代には友人に恵まれよく学校で遊びました。とても楽しかったのですが、中学時代に比べて勉強に真剣に取り組んでおりませんでした。そのため宮崎医科大学医学部(現宮崎大学医学部)に入るのに二浪することにになりました。医者としては横浜市立大学で研修医をスタートしました。その時お産は生命の誕生に立ち会えるとても感動的な仕事であると同時に、一瞬にして母児ともに命を失いかねない大変な仕事と知りました。そのお産がおもしろいと感じ産婦人科の仕事を選びました。

十年前横須賀で分娩施設の不足していた頃に横須賀マタニティクリニックを開業し約六年が過ぎました。以前よりお産を扱うクリニックを自分で持つことが目標でしたのでとてもうれしかったです。しかし今お産を取り巻く環境は、少子化、妊婦の高齢化、医療の進歩などにより

大きく変化しています。日々取り組んでいかなければ、その変化にはついていけません。まだまだ学ばねばならないことはたくさんあります。が、身体の続く限りがんばってゆきたいと思っています。

最後に追校生のみなさん、私には高校時代は授業やクラブ活動に興味の見いだせない時期がありました。しかし今の経験は勉強、クラブ活動、すべてが将来の自分の基礎になります。無駄なことはありません。二年浪人したことも今の私の身になっています。どんな辛いことも失敗した時も自分を信じて進んで下さい。応援しています。



◆同窓生活躍人◆

〜卒業生のお店〜

庄子 正純氏

(追浜高校21期生)

麵処 まさる



追高卒業生が経営されているお店、お二人目は、ラーメン居酒屋を運営されている、庄子正純さんです。庄子さんが三笠公園そばに店をオープンしたのは、平成25年8月6日です。開店3年目を迎えています。が、ラーメン店特集雑誌やグルメ情

報誌にも取り上げられ、昼夜共に、リピーターが増え続けています。横須賀中央の繁華街を離れた「隠れ家」のようなラーメン居酒屋は、確実に地元で根付いています。

庄子さんは、追浜高校陸上部で活躍後、國學院大学文学部を卒業して、民間企業に8年間勤務したのち、30歳で退職、一転して飲食関連会社のラーメン事業部に入社、池袋でホールからスタートし、2年で主任まで上りつめていきます。その後横須賀での独立を目指し、金沢文庫の店で調理師免許を取得、酒の選別、仕入れも学んで、45歳で念願の独立を果たし、ラーメン居酒屋「麺処まさる」をオープンしました。

どうしても横須賀で店を開きたい、それは、追浜高校の仲間たちが気軽に集まれる場所を作りたいからだとそうです。陸上部のOB・OGを含めて、追高の卒業生、その家族、友人たちみんなが集まれる場所が欲しかったのです。陸上部の先輩が早逝されたとき、何人も連絡の取れない仲間がいた。もし年に1回でも集まれる場所があったなら、という悔いが、横須賀に店を開きたかった原動力になったそうです。

ラーメンは「平成の支那そば」を目指しています。そして料理とお酒

にもこだわりを持ってやっています。昼のラーメン、夜の居酒屋メニュー（もちろんメのラーメンも）も充実していて、皆さん、笑顔で帰路につかれます。（リピーター確定！）

高校時代の思い出は、何と言っても陸上部です。上下関係は厳しくなくて、家庭的な雰囲気、みなさんとても仲が良かったそうです。庄子さん自身は短距離と槍投げをやっていました。

陸上部以外では、2年生の時のクラスが印象深いそうです。

「生徒会館でのクラス合宿、厳しいとばかり思っていた担任の先生が、くだけた感じで付き合ってくれて、意外な発見で、明け方まで大騒ぎをしました。先生が温かく見守ってくれていました。」

追浜高校時代の繋がりは、卒業して30年近く経って、年々、更に大きくなっていきます。自分の店が、追高の卒業生が気軽に集まれて、家族や友人を巻き込んだ楽しいつながりを実感できる場所になったら嬉しいですね。

ぜひ家族や仲間とお店に来てください。」

「麺処まさる」

横須賀市小川町
23-1（横須賀中央から徒歩10分）

Tel 046-874-9883

昼 11:30 ~ 14:00

夜 17:30 ~ 21:30 L.O.

※ランチタイムメニューあり

日曜定休。



追浜高校うしお会創立50周年行事のお知らせ

昭和41(1966)年3月に1期生が卒業し、同年に同窓会のうしお会が発足し、今年の3月に50期生が卒業し、うしお会も創立50周年を迎えることになりました。

来る、11月14日(土)に以下の内容で、ホームカミングデー及び50周年祝賀会を下記の要綱で開催します。みなさんお誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

「ホームカミングデー」のお知らせ

うしお会50周年行事「昼の部」として、《ホームカミングデー》を開催します。懐かしい校舎、8月に落成した「新校舎」、校友の皆様・後援会の寄付により改修された「生徒会館」の見学ができるほか、いくつかの教室では、50年分の「卒業アルバム」、「制服」、「新旧の写真・映像」コーナーの展示を予定しております。また、お昼時には、あの学食とパン屋さんも特別に営業します。当日は、現役生徒の部活見学(運動部・吹奏楽、ダンス部等)も可能です。旧校舎で思い出に浸り!新校舎で次世代を担う後輩達への飛躍に思いを馳せ! などしてみませんか?受験生への広報コーナーも予定しています。

【日時】平成27年11月14日(土) 11:00～16:00 (入退場自由、予約不要)

【場所】追浜高校 (上履きは用意します。卒業生だけでなくご家族、友人、受験生、ご近所の方の参加も自由です。正門近くの受付で、名札を受け取ってください!)



懐かしの?学食。今も健在です!
メニューは色々様変わりしていますが、
うどん・そば・カレーライスは変わらず!
新メニューの丼ものも生徒に人気!
当日、味をお楽しみください!
パンも販売します!(北原パン・七海パン)

「50周年祝賀会」 500人以上の卒業生、旧教職員の参加を期待しています!

<場 所> セントラルホテル
(横須賀市若松町2-8 TEL 046-827-1111 横須賀中央駅下車徒歩2分)

<受 付> 17:00～、18:00開宴(3・4F貸切、立食パーティー)
・挨拶、乾杯の後、歓談、スライドショー(学校の思い出など)等
・プロアマの卒業生によるパフォーマンス(歌や演奏など)校歌祭参加者の歌も!
※ロビーで、校章マーク入りどら焼き、追高せんべい、マグカップ、Tシャツなど記念グッズ販売予定

50周年記念誌(3年前作成販売のもの、1500円)も追加販売いたします!

<会 費> 5,000円 ※41期生以降の卒業生につきましては、2,000円です!

*出欠/同封のハガキにて10月10日(土)までに出席のご連絡をお願いします。
なお、今回はお子様連れでも参加できるようにホールの一画をお子様預かりスペースとして確保し、専門の保育士の方に見ていただきます。

ご希望の方は、ハガキに預けるお子様の人数・年齢を併せてご記入ください。

※皆さんが旧交を温めてくれることを期待しています!奮ってご参加ください。

学校長より



「新たな半世紀へ！」

平成25年度より、前任の小西憲一校長先生より禱を受け取り、追浜高校の舵をとることになりました。森匠志（もりしょうじ）です。うしお会会員の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

平成24年11月10日、横須賀芸術劇場において創立50周年式典を挙行し、記念事業として生徒会館の改修工事を行いました。改修費は2千万円以上になりましたが、うしお会や卒業生の保護者で構成する後援会からのご支援や、PTAの周年積立金で賄うことができました。あらためて感謝申し上げます。

現在進められている校舎第1棟

の新築工事も8月末には終わります。新校舎には普通教室9部屋の他、全日制、定時制の職員室や保健室、図書室、自習室、事務室などが入ります。11月14日には、うしお会ホームカミングデーが予定されており、新校舎や生徒会館の見学等が予定されています。多くの皆様のご参加を楽しみにお待ちしております。

新校舎の普通教室に入る生徒用スクールロッカーの購入につきましては、うしお会の皆様からのご支援も賜りたいと考えております。趣旨をご理解の上、ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

最後になりますが、追浜高校は創立50周年という節目を通過し、新たな半世紀へと歩み始めました。本校の校訓である文武両道と独立自主は、先輩方から脈々と受け継がれ、生徒に浸透しております。校訓を胸に努力精進する追浜高校生に今後とも大きなエールを送っていただければ幸いです。

生徒会館改修 終了しました！

昭和42年1月14日に落成した生徒会館は、その後、クラス合宿や、部活動の合宿所として、大いに活用されてきましたが、老朽化が進み、天井の欠落、水漏れ、床板の損傷など目立ってきて、生徒が利用できない状態で推移してきました。建築当時の建築主体が県ではなかった等の理由で、県からの改修費用がまったく望めない状況で、朽ちていくのを待つばかり、という状態でした。

平成24年度の追浜高校創立50周年にあたり、同窓会費より1千万円、そして多くの同窓生の皆様から個人単位で多額の寄付を賜り、生徒会館の改修工事が行われました。平成25年3月、水周りの大改修、屋根、天井、床板等の修繕、窓もアルミサッシに改修を終え、外観も鮮やかなライトブルーに生まれ変わり、現在は毎日部活動の活動にも利用されています。同窓生の皆様に心よりお礼申し上げます。



抜けた天井は張替え、窓もサッシに！（2階）



青い塗装も美しい、改修後の生徒会館

ただし、全面改築には3千万円以上の資金が必要という見積もりの中で、今回の改修では、十分に手がつけられなかった箇所も多々あります。

生徒会館を今後いっそう活用していくために、同窓生の皆様に更なるご援助をお願いすることになるかもしれませんが、今後とも、ぜひご援助、ご協力を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



健在です！合唱コンクール！



チアダンス部のパフォーマンス

うしお会創立50周年、おめでとう
ございます。半世紀ということ、
ここでも追浜高校の歴史を感じまし
た。

私たち生徒会執行部は、1年を通
して校内外の活動に積極的に従事し
ています。長い歴史を持つ追高祭は、
現在も文化祭と体育祭が隔年開催さ
れています。今年度は6月に体育祭
が開催されました。1年生にとつて
は初めての、2年生にとつては最初
で最後の、3年生にとつては2回目

生徒会便り



の体育祭となりました。執行部は前
年度から少しづつ準備を始め、競技
案作成から当日の本部運営まで協力
して取り組みました。大変忙しいス
ケジュールではありましたが、当日
は生徒全員の盛り上がりや、一体感
を感じることができ、たくさんの笑
顔が弾けました。また、近年恒例に
なっている「部活動対抗リレー」は
生徒会主催の競技なので、ぜひこれ
からも続けていって欲しいです。

また6月末に、震災で被災された
ネパールへの救援金の募金活動も行
いました。秋には近隣の小学校に赴
いて、いじめ暴力防止の講習会に参
加し、児童と交流する予定です。他
にも、近年特に地域の皆さまからポ
ランテアやイベントなど、様々な
活動への参加の要請があり、執行部
だけでなく、他の部活動や委員会の
生徒も意欲的に参加しています。こ
うした取り組みを通して、ますます
地域に根ざした学校になってきてい
ます。さらに、各部活動が多くの実
績を残している、創部当時から伝
統を守っているところもあります。

10月には40回目の合唱コンクー
ル、冬には創立以来の伝統の耐寒訓
練も行われます。追高卒業生の皆さ
まにとつては、どちらも思い出深い
学校行事だったことでしょう。私た

ち在校生も真剣に、かつ楽しみなが
ら取り組みたいと思います。

そして、なんとと言っても今年度は
記念すべき新校舎完成の年です。い
よいよ追浜高校の新たな歴史が始ま
ります。我が校の校訓「文武両道」独
立自主の下、これから私たちは新
校舎で多くのことを学び、経験して
いきますが、その重みを感じながら、
53年目の伝統を受け継いでいき
たいと思っています。

私自身も生徒会長として、今後さ
らに開かれた生徒会活動を目指して
いくとともに、学校に新しい風を吹
かせていかれるように努力してい
きたいです。

生徒会長

(51期生) 大橋 紗耶



うしお会創立50周年に 思うこと

うしお会会長 2期生 進藤 研治

わが追浜高校は、3月2日第50期生238名がめでたく卒業しました。うしお会会長の立場から、臨席させていただきました。

2期生として黎明期に在りし48年前に卒業して以来、様々な場面で母校に関わらせてもらってきた私としては誠に感慨深いものがありました。

学校、学生はもちろん卒業式も様変わりしています。男子の着帽は当然のごとくありませんし、並び順は男女通しての「あいいうえお順」、卒業生及び在校生の言葉はたまたまかもしれませんが両方女子でした。

ただ、諸先生の熱心さ、生徒の礼儀正しさ、やる気のある笑顔は変わっていないと感じています。

うしお会として、50期生を迎え新たな歴史を作る船出の年として、11月14日(土)11時より「ホームカミングデー」と名づけて母校を開放します。(これには当然現校長である森先生をはじめとする学校関係者の多大なご協力をいただいています。)

18時から「セントラルホテル」において「祝賀パーティー」を開催します。1期生から50期生まで多数が集いたいと願っています。

今後とも、会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

チャリティー コンサートで ピアノを寄贈

平成24年の「深澤芳美とキャロライナシャウト」(深澤さんは追浜高校9期生のジャズピアニストです)による、チャリティーコンサートにて、チケット代、その他追高OB、OBのご父兄、有志の方達からの寄付金、総額153万円が集まり、音楽室にグランドピアノが寄贈されました。当時の小西校長、進藤うしお会会長等列席され、贈呈式も行い、授業の他、合唱コンクールの練習や、校歌祭練習でも大活躍しています。



ご協力ありがとうございました。

青春かながわ校歌祭 ~ぜひご参加ください!~

「校歌祭」ってご存知ですか?今年は10月17日(土)に秦野市文化会館で、第10回青春かながわ校歌祭が開催されます。旧制中学を中心とした10数校でスタートした校歌祭ですが、昨年横須賀芸術劇場で開催された第9回校歌祭には県内27校が参加しています。



(昨年度の追浜高校ステージです。)

追浜高校は3期生の秋元さん、目黒さんを中心に、うしお会も協力して、第6回から参加しています。昨年度は1期生から51期生まで150人以上がステージにあがり、校歌・逍遥歌・応援歌を披露しました。合唱指導・指揮は、今回活躍人で紹介させていただいた4期生の石野さんにずっとお願いしています。(完成度は他校に較べ抜群に高いと評判!)「校歌」もちゃんと覚えていないし、気乗りしない...と言って渋々参加した方も、練習に参加し、本番でステージに立ち、反省会で美酒に酔いしれるころは、笑顔がはじけ、「追浜大好き!」と、反省会でも校歌を再度合唱しています!

今年は会場が秦野文化会館と遠方ですが、横須賀中央・追浜・横浜発で貸切バスを用意する予定です。

練習は9月26日(土)と10月10日(土)の2回、まだ予定しています。練習会場は追浜高校音楽室です。午後2時から4時過ぎまで練習しています。ぜひ、練習に御参加ください。

本番は10月17日(土)です。お問い合わせは、学校うしお事務局の青木・二宮が、追浜高校校歌祭担当責任者の秋元さん(046-865-2412)までご連絡ください。

同窓会のホームページもご覧ください!

追浜高校うしお会の最新情報を更新中! ぜひ、ご覧ください!

[http:// 追浜高校うしお会 .jp/](http://追浜高校うしお会.jp/)

